

## 令和7年度にむけた改善方策

関係者評価委員会からは、概ね高い評価をいただき感謝いたします。今年度の学校評価、そして関係者評価委員会よりいただいた報告書から、次年度に向けた大きな反省があります。それは、学校の重点目標についてです。

学校評価では、重点目標についての項目が2項目あります。肯定的評価の割合を見てみましょう。

- ・わたしは、保護者に学校の重点目標を伝えている。(教職員 自分視点 74%)
- ・本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。(教職員 学校視点 97%)
- ・本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。(保護者 73%)
- ・わたしは、今年度の学校重点目標を理解している。(教職員 自分視点 90%)
- ・学校の教職員は、今年度の学校重点目標を理解している。(教職員 学校視点 87%)
- ・わたしは、今年度の学校重点目標を理解している。(保護者 47%)

校長として、子どもたち、そして保護者の皆様に、「重点目標」という言葉を、私は使った記憶がありません。何度も伝えた言葉は、尾山台小学校の教育目標「すすんで学ぶ子 あかるい心をもつ子 じょうぶな体をつくる子 なかよく力をあわせる子」そして、「笑顔いっぱい 元気いっぱい」「安心・安全」「かしこく・なかよく・げんきよく」です。その他、「本を読もう」ということも繰り返し伝えてきました。教職員には、これらの言葉に加え、「わかる授業 できる授業」「小学校教師の専門性」「明確な指示・発問・説明」「地域との連携・キャリア教育」「ほめて伸ばす」「健康第一」という言葉を繰り返し伝えてきました。

それでは、私は校長として、尾山台小学校の「重点目標」を、どこで、どんな言葉でつたえていたのでしょうか。保護者、地域の方にも見ていただけるものの中で、重点目標という言葉は、ホームページにあります。

「学校評価を踏まえた重点目標」として、1. めあてをもって主体的に学習する子どもの育成 2. 集団活動の中で、自分のよさを発揮し、すすんで行動する子どもの育成 3. 自分を見つめ、運動に親しみ、自ら体力を高めていく子どもの育成

そして、「学校の教育目標並びに重点目標を達成するための基本方針」として、1. 豊かな知力を育てる教育の推進 2. 豊かな人間性を育てる教育の推進 3. 健やかな身体を育てる教育の推進 4. 地域とともに子どもを育てる教育の推進 です。

校長として反省したのは、子どもたち、保護者・地域の皆様、教職員に伝えている言葉ではない言葉を「重点目標」と挙げていて、それが伝わるわけがない、ということです。また、関係者評価

委員会からは、教育目標・重点項目に対応するような評価項目の検討について意見をいただきました。令和 6 年度までは、保護者の皆様は世田谷区全体で統一した文言での 33 項目の学校評価＋尾山台小学校独自の学校評価 10 項目、計 43 項目に回答していただく学校評価となっていました。来年度から、世田谷区全体で統一した文言の項目は 1 項目のみとする案が出ており、学校評価の設問が大幅に削減される見通しとなっています。令和 7 年度は、教育目標に対応する重点目標を保護者・地域の皆様に伝えられる明確なものとし、分かりやすい、伝えやすい、振り返りやすいものとなるようにしていきます。